

道路の管理に就て

大阪市土木部長 島 重 治

道路の管理に就てといふ標題を掲げたが、こゝに管理といふ(こと)は、或ひは法律上の解釋からは多少不適當であるかも知れぬ、道路には必ず管理者がある。國府縣道は知事がこれを管理し、市道は市長、町村道は町村長がこれを管理することになつて居つて、道路に關する事項は總て管理者の權限に屬して居るのである。道路の路線を認定することから、其の監督、工事を施行すること、又は道路に關係ある他の工事の取締、工事費用の負擔、等の事も要するに管理をする上の手續、若くは方法とも言へば言ひ得るのであらうと思ふ、本誌の讀者はその管理者の代表となり、或は管理者の指揮命令を受けて實務に當らるゝ方々と考へるから、茲に管理と云ふ字を藉

りて、諸君が實務を執られる上に付て少しく叙述したいと思ふ、多少でも御参考になるならば洵に幸甚とする所である。
先づ順序として道路の監督、次に道路の工事、この二つに別けて申述べたいと思ふ。

道路の監督

道路の監督には、普通の場合に於ける監督と、工事取締に關する監督と二通りあるが、先づ平時の監督に於て、第一には併用軌道即ち、道路上に敷設してある軌道の取締である。

併用軌道の取締

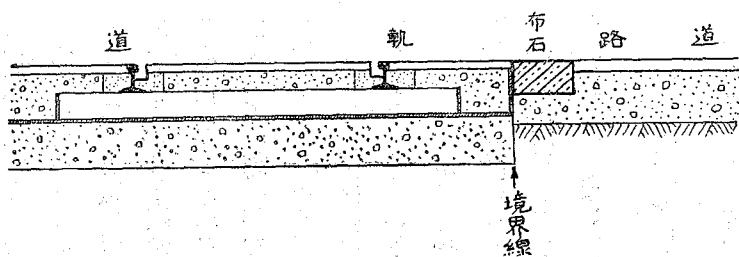
軌道が道路を併用して居る場合には、軌條の間及び軌條の外側二尺の間はその起業者が維持修繕に任ずることになつて居る。所が實際に於てはこの維持修繕が甚だ不行届であつて、私が某市に參つたところが、軌道は石を以て鋪装してあつたが、その石が凸凹になつてスツカリ緩んでしまつて居る。自動車で通るとガタ／＼して殆ど通ることが出来ない。その時は恰も雨天であつたが、泥水が一ぱい溜つ

て居つて、自動車が通ると泥水のはねが軌道の外まで及んで、通行人の着物を汚すといふやうな状態であつた。又他の某市に於ては、軌道の中を通る人があると巡查がそれを見て、此處は通つてはいけなひと言つて咎めて居つた事がある。これは併用軌道であるから當然道路と共通のものであつて、これを咎めたといふのは、巡查に道路知識が無かつたに因るのであらうけれども、蓋しその巡查の考では、軌道の間の手入が非常に悪くて恰も普通の鐵道のやうな状態であつたので、鐵道に於ける線路工夫と同じやうに、これは軌道専用のものである、普通の人は通ることが出来ないものであるといふやうな考から、これを咎めたのであらうと思ふ。斯様に随分維持修繕が疎かになつて居る處があるから、道路管理者の代理として監督さるゝ諸君は、これ等に就て十分に取締を願ひたいと思ふ。

それから併用軌道の場合には軌道は、道路の中央に之を

敷設するのが原則であるが、時としては道路の幅員の都合上これを道路の一部分に偏して敷設されることがある。これは軌道建設規程に於て認めて居るのであつて、即ち同規程に依ると軌道を一方に偏して敷設する場合には車體外から路端までの距離を夫々の事情に應じて六尺甚しきは三尺までは許してある。所がこれを六尺とか三尺とかにするとその路幅は非常に狭くなつて、電車通行の際には殆どその道路の一侧を利用することが出来ない、則ち道路としての効果を著しく減殺するやうな場合があるから、事情の許す限り九尺以下には狭めたくないのである。若しも全體の路幅が狭くて一方を九尺以上にすると建設規程の命ずるやうに軌道を敷設することが出来ないといふやうな場合が起つたならば、それは起業者の負擔でこの道路の幅員を擴張する方法を講ずべきである。

序に申述べるが、併用軌道で一番損傷められるのは軌道敷と道路敷との境界である。それは電車が通ると軌條なり或は下の枕木に重味が掛る、それを反覆する間に、少して



も緩みがあればその緩みがだん／＼大きくなつて来る、雨が降れば雨水がその中に入つて一層緩んで来る。その軌道敷を緩めた結果、道路敷にまでもその影響を及ぼすことになるので、大概軌道を敷設してある道路の破損の原因はこの境界の所から起るのが多い。此事實は舗装道路にとつて特に苦痛とするところであつて諸君が東京市中をお歩みになれば直ぐ眼に着くことだらうと思ふ。どうしたならばこれを防ぐことが出来るかといふことが一つの問題になつて居るのである。一昨年内務省に於て開かれた六大都市の技術員會議の席上に於てやはりこの問題が起つたのであるが、その時に次

のやうな意見が出たが、實驗上からも有効であるとのことであつたから参考までに附記して置きたいと思ふ。

一般に枕木の下に軌道敷の基礎と道路敷の基礎とは、共通にしたら宜からうといふので、コンクリートその他の材料でこれまでは共通に造つて居つた。これがいけないので同じコンクリートでやるにしても軌道の基礎と道路の基礎とは縁を切つた方が宜い。さうしてその境界の道路基礎の方に縁石を置いて、道路敷は道路單獨に舗装工事を行ひ、軌道敷の方は軌道だけに相當の舗装を行ふといふことにすれば、軌條なり枕木が振動しても其の間の縁が切れて居るから、その影響が道路敷に及ぶことがない、又軌道の舗装が弛んでも縁石で限られて居るから道路の舗装に影響することがない。といふ説であつた、先づ今日の所ではこれ等が一番有效な方法ではあるまいかと思はれるのである。

賃取橋、賃取渡船の取締

次は賃取橋と渡船のことであるが、これは元來假設的の

もので、本來ならば道路管理者がそこに橋梁を架けて交通の便に供しなければならぬのであるが、經費その他の都合で已むを得ず賃取橋若くは渡船を許可して居るのである。所がどうもこれを經營する所の公共團體若くは私人は、公共用といふことを忘れて動もすれば營利といふ方に重きを置く結果、維持修繕が疎かになり、それが爲に交通に危険を及ぼすことが少くないのである。殊に渡船になると、雨の降る日とか或は夜遅くなつた場合には、言を左右に託して船を出すことを肯んじない、所は不當の賃銀を食るといふやうな弊害を時々見受けるのであるから、之等のものを取締るのは當然のことであるが、なるべくならば管理者自身に於て直營でこれを執行せられたい、而して無賃たるべきは申すまでもないのである。

道路の占用と埋設工作物

道路若くはその附屬物を占用する場合には、他に適當の場所が無く、緊急已むを得ざる場合の外は占用は許可すべ

きものではないのであるが、實際に於ては随分横暴な占有をして居る者がある。甚だしいのは無斷占有をして居るのがある。是等はその占有を許可する場合に方つて十分に取調べて戴きたいのである。どうも地方によつては情實に囚はれて、必要以上に占有を許可するやうなことが往々見受けられる。一體に我邦の道路は狭くて交通に不便であるがこの占有の取締を嚴重にすれば或る程度までこれを緩和することが出来ると思はれる。又道路に荷車とか自動車などを放つて置くのがあるが、是等は交通事故として警察の取締に屬すべきことであるといふところから遠慮せられる向もあるやうであるが、一面から申せば是等も一時の無斷占有と看做すことが出来るのであるから、それを取締るのには何等の遠慮は要らないのである。尤も警察と相協力して取締らるゝに於ては更に大なる効果を收め得るであらう。

占有に就て最も問題となるのは、逓信省をはじめ電燈會社その他の電柱、それから地下埋設物、これがいつも道路と關聯して問題となるのであるが、この電柱を建てること

及び地下埋設物の事に就ては、大正九年七月一日内務省訓令第十一號に依つて規定してある。殊に逓信省關係のものは同年四月一日土木局長から地方長官への通牒に依つて規定せられて居るから、この省令及び通牒に依つて略々盡されて居ると思ふが、實際はなかくさういかぬ。

殊に地下埋設物に就ては、土中に工作物を埋めるのは宜いが、その埋戻しが甚だ不十分である、これはその起業者が自分の仕事さへしてしまつたならば、後はどうでも宜いといふ不親切から起ることであらうと思はれるので、それが爲に交通に支障を來し、雨でも降ると泥濘深くして殆ど通行が出来ないといふやうなことになる、これ等は復舊工事必要な費用を起業者の方から取つて、管理者自身の手に於て埋戻し工事を行ふやうにしたい。尤もこの事に就ては前逓省令若くは通牒には管理者自から埋戻しを行ふのは特別なる方法を以て鋪裝せる道路に限られてあつて一般の砂利道その他の簡單なる道路に就ては別段規定はないやうであるが、これは起業者との協議に依つて如何やうにもする

ことが出来る。現に二三の府縣ではこれを實行して居る所があるのだから、各府縣でも是非自分でこの仕事を行ふことに努められたいのである。

道路に於ける埋設物に關聯して、一言附加へたい。道路にはいろいろな地上地下の工作物がある、或は逓信省で電纜を埋める、或は電燈會社でも埋める、其他上下水道もあり、軌道もあり、道路鋪裝工事もある。これ等のものが一つの道路を使用する結果、絶えずその道路は掘返され又埋設され、斯くして交通は殆んど杜絶の状態である。商店などは店先が泥の爲に汚されてしまふばかりでなく、交通が出来ないので商賣が上つたりになるといふやうな苦情が少くないのである。これ等は何とか方法を設けて成べく工事の時期を短くし、交通の支障を最少限度に留めたいのであるが、これもなかなか實行はむづかしい、何分にも起業者が多方面に互つて居るので、これを統一することは餘程困難である。この問題は土木課長會議及び六大都市技術員會議等の議に上つたのであるが、特に纏つた意見はなかつた

やうであるが、稍々傾聽すべきものとしては我が大阪市に於て施行して居る方法であると思ふ。

大阪市では二十日會といふ會を設けて、毎月二十日に逓信省をはじめとして大阪府、市の當局者、それから電燈會社、其他道路地下埋設物に關係の有る官衙並に會社の人々が相寄つて、さて是からどういふ風な仕事をやらう、あなたの方の仕事は何時から掛るか、然らば私の方の仕事はいつ頃からしよう、ではこれは一緒にしようといふ風に、互に腹藏なく協議をして、仕事の順序を定めて工事に取掛る。この方法に依ると道路を掘鑿して居る時間も餘程短縮することが出来、互に協調して行くから仕事も順調に行く。元來此種の工事には兎角感情といふものが伴ふので、所管が違つて居ると何とか苦情をつけて、それが爲に無益に時日を潰すことがあるが、前のやうな方法でやれば、さういふ感情の行違ひも餘程少い。兎に角大阪に於ては此の方法に依り相當の成績を擧げて居ることは事實である。